

## にいなめファーム推進協議会

～令和5年9月7日(木)訪問～ 【佐伯市】



にいなめファーム推進協議会は、佐伯市上浦の大浜、蒲戸、福泊地区の皆さんが、耕作放棄地の解消と地域の活性化を目的として令和元年に発足させた団体です。荒廃した水田を活用した野菜や花の栽培、放課後児童クラブの子ども達への農業体験の提供、敷地内の池である六反池の整備などに熱心な活動をされています。

耕作放棄地を利用した野菜の栽培では、ニンニク、ピーマン、ナスなどを栽培し、近隣の道の駅などに出荷しているほか、作付けしている「黄金千貫」という芋は、地元佐伯の蔵元で焼酎の原料に使われるほどになっているとのこと。また、花の時期になれば、多くのアマチュアカメラマンや観光客が訪れたり、地元の中学生が自然学習などを行っているそうです。一方で、小学校が廃校となるなど少子高齢化が進む現状と課題も多くお聞きしました。また、現在栽培している作物に加え、周年栽培ができるような支援についてのご要望も伺いました。

皆さんには、豊かな自然がある素晴らしい場所であり、ぜひ若い人にも住んでいただきたいので、県としてもできる限りの支援をしたいとお伝えしました。

懇談後は、皆さんと共に畑や六反池を巡り、丁寧に説明いただきました。

## 対 話 風 景



### 関連する県の施策

☆事業名：持続可能な地域づくり推進事業

事業概要：住民の希望を叶え、将来にわたり持続可能な地域づくりを実現するため、地域コミュニティ組織が行う地域課題の解決等に要する経費に対し市町村と連携して助成するほか、新たな組織の設立や再編・連携を支援

・高齢化集落等支援事業費補助金（補助率 県3/4以内、市町村1/5以上）

予 算 額：1億1,447万円（うち高齢化集落等支援事業費補助金 7,800万円）

【高齢化集落応援隊について】

大分県では、高齢化と過疎化による人手不足で、道路の補修や草刈り、公民館や集会所の掃除、お祭りなど集落の共同作業が困難になりつつあるため、平成21年度から、市町村と連携して、企業やNPO、ボランティア団体等の皆さんにグループ登録していただき、集落の暮らしを守るために活動する「高齢化集落応援隊」を募集しています。

企業等のCSR（社会貢献活動）として、多くの企業やNPO、ボランティア団体等様々な活動主体の皆さんの登録、応援をよろしく願います。

